

京都市陽産業紹介誌

フォルテシモ

Prelude to
the Industrial Revolution in
JOYO, KYOTO



ff

フォルテシモとは
音楽用語で「とても強く」を表す記号です。
力強く発展する城陽の産業をイメージし、
本誌のタイトルにしました。イタリア語では
fortissimo (フォルティッシモ) と表記され
ますが本誌ではフォルテシモとしています。

成長!発展! Change the future 京都市 城陽

城陽市を含む京都府南部地域には、京都と滋賀を結ぶ「京滋バイパス」、京都と大阪を結ぶ「第二京阪道路」、京都と奈良を結ぶ「京奈和自動車道」の高速道路網が整備されています。平成29年4月には新名神高速道路「城陽〜八幡京田辺間」が開通し、令和5年度末には新名神高速道路「大津〜城陽間」、「八幡京田辺〜高槻間」の開通及び(仮称)城陽スマートICの供用が予定されており、新名神高速道路が遂に全線開通を迎えます。

これにあわせて、プレミアム・ア

ウトレットの開業や、国道24号城陽井手木津川バイパスの整備なども進み、これからの城陽市は「ヒト」、「モノ」、「情報」、「サービス」などが行きかう「ハブ都市」となり、大交流の時代を迎えます。そのような中で、市域では、市の産業の担い手である農業者や商工業者のみなさんがそれぞれの事業に取り組み、いきいきと活躍されています。同じエリアに立地した企業同士のネットワークや、市全体の企業間連携を深めるネットワーク組織の形成も進んでいます。また、農業者自らが加工・販売までを手がける6次産業化や、農業者と商工業者が連携して商品開発に取り組む事例も増えており、市内の産業界はますます活気づいています。

これらの力強く発展する城陽の産業をイメージし、本誌を産業紹介誌「フォルテシモ」と名付けました。日々刻々とまちの変化が実感できる城陽で、産業界のみならず、この変化をどのように捉えるのでしょうか。そのお声をご紹介します。

新名神全線 開通

令和5年度末

- 大津〜城陽間・開通
- 八幡京田辺〜高槻間・開通
- (仮称)城陽スマートIC設置

- 京都市役所 [約35分]
- 学研都市精華・西木津地区 [約25分]
- 奈良市役所 [約35分]
- 大阪市役所 [約45分]
- 京都舞鶴港 [約95分]

プレミアム・アウトレット 開業

開業予定
令和6年春
東部丘陵地
長池地区

開業時期
未定
東部丘陵地
青谷地区

流通ゾーン

神戸まで
約65分

名古屋まで
約100分



JR京都駅
まで
約22分

令和5年 JR奈良線 複線化

令和5年(2023年)
○JR京都〜JR城陽間(みやこ路快速)

京都市 城陽 産業紹介誌 フォルテシモ ff

- CONTENTS
- 成長!発展!城陽
 - [識者対談] 変わる城陽への想い
 - 業界の人々に聞く 農商工のこれから
 - 城陽市の産業集積&ネットワーク
 - 農商工連携、6次産業化など、活力ある城陽の農業
 - 企業説明会
城陽市産業施策年表
 - 城陽市産業支援サイト JoinT
 - 市内企業紹介

[発行] 城陽市まちづくり活性部
商工観光課 ☎ 0774-56-4018
[編集] 城陽商工会議所 ☎ 0774-52-6866
[制作協力] ココロ株式会社

変わる城陽への想い

新名神高速道路の全線開通を目前に控え、変革期を迎えている城陽市において、市内産業振興の中心的役割を担う城陽商工会議所の堀井会頭、作家として城陽を拠点に活躍されているきょうと城陽応援大使の望月さん、奥田市長が、それぞれの視点から市内産業に対する思いや今後の城陽の発展についてなどを語り合いました。

城陽市の今、それぞれの想い

（木谷参事）城陽市や市内産業についての印象などをお聞かせください。

（奥田市長）城陽市は、京都から五里、奈良から五里に位置しております。昭和26年に久津川村、寺田村、富野荘村、青谷村が合併して城陽町となりました。昭和47年5月の市制施行以来、都市基盤整備が進み、ベッドタウンとして発展してきたまちです。温暖な気候で良質な地下水が豊富にあり、それを活かした企業の立地や、てん茶、イチジク、花しょうぶなどの栽培も盛んです。伝統産業としては、江戸時代から生産されている金銀系があります。また、新名神高速道路の整備を契機とし、サンフォルテ城陽や京都山城白坂テクノパークなどへ、次々と新たな企業が立地・操業され、まちがどんどん活気づいてまいりました。本市は今、大きな変革の時代を迎えており、市の産業も未来に向かって力強く発展している只中です。まちは時代、時代で変化しますが、この変革期において、私たちの時代の

きょうと城陽応援大使
望月 麻衣



城陽商工会議所会頭
堀井 美郎



城陽市長
奥田 敏晴



（堀井会頭）会議所として迎えています。市内商工業の状況としては、オイルショックやバブルの崩壊、リーマンショックなどを経験し、今、コロナショックとも言うべき状況にありますが、コロナ収束後のニューノーマルを見越して事業を変化させていくという企業努力をされている事業者もたくさんいます。地場産業の金銀系も、西陣織の原材料としてだけでなく、自ら商品化を進めるプロジェクトに若手事業者が参画し、意欲的に取り組まれています。会議所としても、今こそ、事業者や行政と連携して市内産業を盛り上げていく時と考えています。

（望月さん）私は北海道出身ですが、私が城陽出身で、子どもが中学校進学の際に城陽に引っ越してきました。城陽は気候が温暖で住みやすいです。電車で京都市内へも気軽にいきますし、何より



進行役 城陽市まちづくり活性化部 参事 木谷 克己

（望月さん）私は北海道出身ですが、私が城陽出身で、子どもが中学校進学の際に城陽に引っ越してきました。城陽は気候が温暖で住みやすいです。電車で京都市内へも気軽にいきますし、何より

（堀井会頭）エッセイでは水度神社や文化バルク城陽イチジク料理を提供しているお店の紹介などをしていただいています。

（堀井会頭）エッセイでは水度神社や文化バルク城陽イチジク料理を提供しているお店の紹介などをしていただいています。

たね。また、ふるさと納税の返礼品とエッセイをセットにさせていただいて、売れ行きも良いと聞きます。市内のお店や城陽のイチジクを多くの方に知っていただく良い機会となっております。

力強く、未来へ……

（木谷参事）今後の城陽市の未来について、産業の発展や期待されていることなどをお聞かせください。

（望月さん）プレミアム・アウトレットの開業や木津川運動公園北側区域の整備などが進めば、住みやすいまちである城陽が、さらに「遊べるまち」にもなると思います。今はコロナで大変な時期ですが、飲食店などで「おひとりさま歓迎」などのユニークな取り組みを始めるのも良いですね。木津川運動公園は、子育て世代にも期待されている場所だと思いますが、愛犬家の私としては、ドッグランなど犬を連れて遊べる場所があるといいなと期待しています。

（堀井会頭）木津川運動公園北側区域の計画見直しに係る懇話会に参加していますが、現在京都府の最終案がまとまったところであり、今後、この公園が城陽のひとつのランドマークになるのではないかと期待しています。令和5年度末の新名神高速道路の全線開通に合わせて、京都府が公園の北側と南

（奥田市長）堀井会頭、望月さんには、それぞれの視点から城陽の産業や未来について語っていただきました。これからの城陽の未来を、産業界のみならず市民のみならず、いかに創っていくかが重要と考えています。新名神高

側をつなぐ連絡橋を整備される予定です。大規模屋根付き広場やレストラン、カフェ、駐車場なども整備されますが、その他の部分については民間事業者からの提案を受ける予定なので、特徴的なものを作っていた方がいいと思っています。新名神高速道路が全線開通すればとても便利になり、城陽に来る人も増えますが、逆に市外へ出ることも容易になるので、いかに地域の魅力を高めて人を呼び込むかが重要です。どのような施設を誘致し、どのような機能を持たせるかによって未来は変わっていきます。まちが変化する中で、外からの事業者の参入も予想されますが、その中でも企業努力を重ね、事業拡大や継続、さらなる発展を目指すような事業者を支援していきたいと思っています。

（奥田市長）堀井会頭、望月さんには、それぞれの視点から城陽の産業や未来について語っていただきました。これからの城陽の未来を、産業界のみならず市民のみならず、いかに創っていくかが重要と考えています。新名神高

速道路の全線開通後は、京都や奈良だけでなく、大阪、名古屋方面への移動時間もぐんと縮まります。エリアが広がってもやはりその中心、交通の重要な部分に城陽が位置していることは一目瞭然です。城陽には心優しい人が多く、それが「住みやすいまち」につながっていると感じています。災害にも強いまちを目指して、公共施設の耐震化も完了しつつあり、古川の拡幅工事により、治水に関してもさらに安全なまちになると考えています。本日お話をいただいた、イチジクや金銀系の取り組みなどを通じて、より多くの方に城陽の良さを知ってもらえるように発信していきたいと思っています。本日は、お二人から魅力あるまちづくりへのヒントをたくさんいただきました。元気があまるまち、活気のあるまち、市民みなさんの笑顔があふれるまちになるよう、「NEW城陽」の実現に向けて、参考にさせていただきます。本日はありがとうございました。



（左から）木谷参事、奥田市長、望月応援大使、堀井会頭



木谷参事から、主要事業について説明

老若男女問わず地元採用。女性活躍のために尽力も



城陽の豊富で良質な地下水を使い、豆腐や油揚げ等を製造し、全国のスーパーなどでお取り扱いいただいています。物流は委託しているのですが、新名神の開通を見越して、輸送会社の進出も増えてきています。これらの企業と連携することで東海エリア、中国エリアに早く商品を届けることが可能になるので、その利点を生かした販売セールスができるかと期待しています。弊社では、社員はもちろん、パート従業員、定年退職された高齢者の方の採用を積極的に行い、多くの従業員が城陽に暮らしています。また、新卒の採用活動

では「城陽市は新名神高速道路の開通やアウトレットの開業などで勢いがあり、自然も多く、買物、飲食、レジャーにも困らない、とても暮らしやすいまちですよ」と伝えています。

弊社の従業員の男女比は、ほぼ半々で、家庭を持つ女性社員も多く、出産後も復職してほしいと考えています。スムーズに現場に戻れるように社員の声に耳を傾け、女性が働きやすい環境づくりのために、これからも関係各所に働きかけていきたいと思っています。



伊賀屋食品工業(株) 常務取締役 富田 和子さん



代々続く農家で、祖父と父は花しょうぶなど花き栽培を中心に行っていました。会社員を辞めて帰ってきたときに、客観的に家業を見ることができ、多様化の必要性を感じていたので、イチジクの栽培を始めました。会社員の経験を生かして SNS での発信や異業種との交流を行いました。これからは農産物を栽培するだけでなく、育てたものを加工し、消費者のもとに届けることが仕事になると思い、「これからの城陽市ならそれができる環境が整う」と感じたのです。

イチジクは追熟せず、傷みややすいため、完熟前に収穫して出荷します。完熟したイチジクを食べてもらうには、朝採りをすぐに届けるか、城陽に来てもらうか。新名神の開通や JR の複線化でその可能性が高まることに期待しています。昨年、加工場が完成し、今年からイチジクタルトやスムージーの製造販売を始めます。完熟イチジクを食べてもらうだけでなくロスも減り、これほど嬉しいことはありません。農業がまちの賑わいの一助となるように頑張ります。



(株)森島平兵衛農園 代表取締役社長 森島 範紘さん

完熟イチジクで、城陽の賑わいに

業界の人々に聞く 農商工のこれから

金銀糸で培った 新たな市場を 技術を生かして新分野も模索 目指し新商品開発や販路拡大を

西陣織や金襴織、祇園祭の鉾の懸装品に使われるなど、金銀糸は日本の産業や文化芸術などの一翼を担ってきました。現在、城陽での金銀糸の製造は分業化が進み、先端技術を取り入れて、紙やフィルムへの「着色」、紙やフィルムを均等に断裁する「スリット」、断裁したフィルムを撚糸する「撚り」など、様々な工程に特化した企業が集まっています。和装需要の減少で、金銀糸のニーズも限られてきていますが、それぞれの企業は独自の技術を生かして、新たな分野への進出も積極的に行っています。



京都金銀糸振興同組合理事長 京山城燦彩糸協議会副会長 戸山 秀樹さん



城陽市の創業支援制度「明日のかがやく産業創出補助金」を利用して、ベーカリーカフェを開業しました。病院勤務の経験を生かして、食を通して健康をサポートしたいと思っていましたが、お客様や地域に受け入れられるかどうか不安でした。創業支援制度に応募するにあたり、自分の考えを見つめ直す機会になり、改めて気づいたことも多くありました。また、事業内容や企画についてプレゼンテーションし、それが採用されたことで、開業の自信につながりました。

現在、市が「減塩のまちづくり事業」を推進されています。私共のハンバーガー、ピザなど、どの料理も塩分を一食 2.2 g 以下で、この事業は自分の思いそのものなので、すぐに加盟店になり、協力しています。

新しいことへの挑戦は容易ではありませんが、城陽市のサポートは心強く、開業後も気にかけてもらい、とても感謝しています。今後も新たな創業者が増え、まちに活気があふれることに期待しています。



Bakery Cafe 吉代 代表 信吉 美恵子さん

創業支援が自信に。減塩事業にも期待



新名神開通、アウトレット開業など、城陽の未来は明るい。しかし新型コロナウイルスが、価値観を一変させました。自宅から出ることなく欲求を満たすネット販売が選ばれ、外出してもアウトレットで完結すれば、市内の商店に立ち寄ってくれる可能性は低い。だから私共のような商店は、わざわざ食べたいもの、買いたいもの、見たいもの、またこれらのサービスを自分たちで作り出さねばなりません。そんな商店や企業が誕生することで、城陽は今以上に元気になるでしょう。寺田イモ、城州白、イチジク、宇治茶など、城陽は食材にも恵まれています。出会いやチャンスはたくさんあります。しかし簡単に成功するほど、世の中は甘くない。私はこれまでの成功や失敗の経験をオープンにしておき、相談を受ければ何でも話しています。だから農商工の業種を越えて、みんなの経験と知恵を集めて共有できれば、成功に近づくとお思います。そのためにも、これまで以上に様々な方と交流できる場を設けて、親交を深めていきたいと考えています。



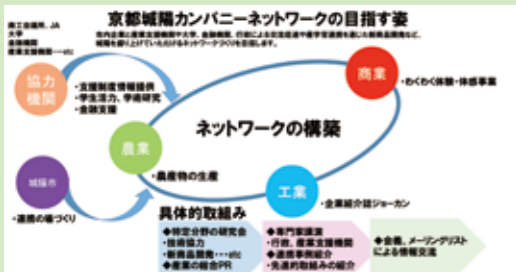
御菓子司 松屋 代表取締役 中川 憲一さん

業種を越えて経験を共有し、共に成功を

京都城陽 カンパニー ネットワーク

これまでの城陽市はベッドタウンとして発展し、市外へ働きに出るまちでしたが、城陽新時代にふさわしいまちに変わり始めています。新名神高速道路の全線開通、JR 奈良線複線化、アウトレットモールの開業など、大規模プロジェクトを起爆剤に、未来に向かって大きく躍動する「NEW城陽」に期待が寄せられています。

城陽の明るい未来を創り出す源泉は、市内で操業されている活力ある企業です。様々な環境が整いつつある城陽市で、今後最も力を入れていくべきことは、企業同士の交流や連携を促進すること。そこで「近隣にある企業なのに、何をされているのか知らなかった」という事業者が多い現状を解消するため、行政が触媒になり、企業同士が繋がる場として設立したのが、「京都城陽カンパニーネットワーク（通称：ジョーカンネット）」です。本会では、参画企業同士の交流、企業間取引、共同開発、企業連携のきっかけづくりの場（機会）として、交流会や勉強会などを定期的実施しています。さらに、金融機関や中小企業支援機関も参画することで、積極的に事業を展開しようとする企業が、自らの強みの強化、弱みの補完・克服をするために必要な最新情報（補助金、雇用施策等）を提供しています。今後さらに城陽を産業界から盛り上げる輪を広げていきます。



城州白の梅美事で、城陽を元気に

収穫した城州白を見て、思わず「見事！」と言ったため、この梅干しを「梅美事」で販売し、大変好評です。サンフォルテ城陽では、梅干し場で利用する予定でしたが、それは山里の静かなところにして、新名神の城陽インターも近く、多くの車が行き交う城陽の玄関口にふさわしい弊社の旗艦店ができればと構想中です。



株式会社おうすの里 会長 栗山 淳次さん

交通の利を活かして、新規開拓を

2年前に城陽郵便局のお隣りに城陽営業所を開業し、順調でしたが、新型コロナウイルスの影響で外食チェーン店の配送が止まり、厳しい状態が続いています。城陽インターに隣接し、京阪神や中部地方へのアクセスの良さを活かして、新規開拓やセールスを行い、ピンチをチャンスに変えて頑張りたいと思っています。



ムラグチ運送株式会社 代表取締役社長 村口 俊市さん

実験棟完成で将来はエレベータの学校を

3棟のエレベータ実験棟が完成し、1棟は内部が見えるスケルトンです。棟の外壁に社名を入れ、これで知って就職に応募してくれた地元の方もいました。製品の実験開発、整備の訓練ができ、全国の同業者を招いた勉強会を行うなど、安全安心の拠点になっています。将来は、エレベータ学校にしたいと構想中です。



京都エレベータ株式会社 代表取締役社長 田中 陽一さん

年2回、家族も参加できる交流会を開催

流通、食品、検査メーカーなど様々な企業で構成され、連絡協議会設置後は、定期的に会議を開いて、問題点の情報を共有し、改善しています。また年2回、それぞれの会社の社員や家族も参加できる交流会を開いてタケノコ掘り、グラウンドゴルフ大会を行い、公私に渡って交流を深め、仲良くなっています。



株式会社 城南工建 代表取締役社長 古瀬 善啓さん

開発や研究に打ち込める環境に満足

以前は城陽市役所近くの住宅街にあり、夜の残業も気づかっていました。現在は誰もが快適に仕事ができ、実験設備を使った新製品の開発や研究に打ち込んでいます。企業間の交流は弊社社員にとって刺激になっています。マイカー通勤もでき、JR 山城青谷と多賀の両駅から徒歩圏内という環境も社員に好評です。



株式会社ビーマックス 代表取締役社長 北川 俊明さん

新名神高速道路の全線開通を控え、城陽市は、京都、大阪、滋賀、神戸、名古屋の中心地として、各地を結ぶハブ的な役割を担うことで注目されています。従来から市内に立地されている企業に加え、新たにサンフォルテ城陽、京都山城白坂テクノパークに多くの企業が進出され、経済活動が活発化しています。サンフォルテ城陽や京都山城白坂テクノパークでは、それぞれ立地企業等がネットワークを形成されており、今回はその世話役や代表などをお務めいただいている企業の皆様にお集まりいただき、今後の展望についてお聞きしました。

サンフォルテ城陽は、久世荒内・寺田塚本地区土地区画整理事業として、2004年5月から取り組みをスタートし、2012年7月に都市計画決定、2013年12月に事業計画決定しました。また2015年3月及び5月に仮換地指定を行い、7月には造成工事等に着手し、2019年5月7日に換地処分を迎えました。サンフォルテ城陽という愛称は、「明るく地域を照らす太陽と、発展する・前進する強さが、今後の城陽市の発展をイメージさせる」として名付けられました。サンフォルテ城陽が力強く発展するよう、立地企業などが集まり「サンフォルテ城陽ネットワーク」を設立。企業間連携や情報共有などの活動を通じて、さらなるまちの発展に向けた取り組みを展開していきます。



サンフォルテ城陽ネットワーク

市南部地域を東西に横断する国道307号の沿道に位置する京都山城白坂テクノパークは、豊かな自然環境と歴史的・文化的資源を地域の基盤とし、新名神高速道路や高規格道路国道24号城陽井手木津川バイパスなどの広域交通網の整備や、観光・公共施設などの様々な都市開発により、ヒト・モノ・情報が活発に交流する地域へと発展しています。立地企業同士の情報共有や交流を目的に「京都山城白坂テクノパーク連絡協議会」を設立。便利な交通アクセスに加え、青谷梅林や鴨谷の滝といった自然豊かな観光名所、さらにゴルフ場やスポーツ施設・天然温泉なども充実しており、周辺の豊かな自然とともに、社員に快適な職場環境を提供しています。



京都山城白坂テクノパーク
連絡協議会

6次産業化、農商工連携など、活力ある城陽の農業

城陽市には、四季折々の特産物がたくさんあり、それらを手掛ける生産者や、生産者自ら農産物の加工・販売を行う6次産業化、また農業者と連携した商品開発などの取り組みが注目されています。活力ある城陽の一翼を担う方々の活動や思いをお聞きました。



和紅茶「城陽」は城陽みやげに人気。648円税込



宇治茶の旨味や甘みを感じ、やさしい味わいに



コンピュータで管理したスマート農業を実践



多くの女性が活躍し、地域の雇用も創出している



永観堂の池の手入れや水生植物の管理も行う



用品も充実した直売所 西宮神社も担当する



生のイチジクを添えても美味しいイチジクカレー



城陽旬彩市直売所、JA五里市で販売。648円税込



接ぎ木や栽培の技術はすべて後進に教えているとか



会社員を辞めて梅農家を継いだ池野元紀さん



ツアーでは碾茶茶園で手摘み体験を行っている



ほんずの抹茶を飲みながらお茶の話を聞ける場も

京都府南部の宇治茶の和紅茶の美味しさに感動した母が、友人や知り合いに勧められていたのが始まりです。和紅茶を作っていた茶農家さんの後押しもあって、弟の祐弥が学生時代に「紅々葉」を起業して、ネット販売を中心に、美容サロンやカフェなどでの委託販売を始めました。昨年、祐弥が大学を卒業して就職先での仕事に集中することになり、現在は東京で社員として働いている兄の私が代表を務めています。紅々葉は、酒井兄弟が社員として働きながら、ダブルワークで和紅茶の魅力を広め、販売を行っています。昨年に城陽市の茶農家さんの協力を得て、念願だった城陽で栽培された宇治茶で作った和紅茶「城陽」が完成し、販売にも力を入れています。茶農家さんとの打ち合わせや製造については母が担当し、私たち兄弟は、京都市内、大阪、東京の都市部にある紅茶専門店や有名なカフェなどへ、城陽の和紅茶の魅力を広める活動に注力しています。

城陽の和紅茶を、兄弟で全国区に広めたい

工作機械の商社の会社員を辞め、祖父の農地で野菜栽培を始めたのが今から13年前。農業は完全な素人でした。JAの組合員になり、青年部の活動を行うなかで、職員さんや農家の先輩方に色々教えていただき、一から勉強しました。ハウスでの水耕栽培のミニトマトづくりも、JAや先輩方からご縁をいただいて始めました。脇芽摘みや収穫は人の手で、室内の温度管理、水やり、施肥などはコンピュータで管理して自動で行っています。美味しさ、収量、価格も安定し、JAを通じて大手スーパーに納品できて、事業としての可能性を実感しているところです。うちの農園では地域のお母さんが子連れで、また一部作業を障がい福祉サービス事業所へ依頼する等、農業と福祉の連携を確立させたいと考えています。現在(取材当時)、京都府農協青壮年組織協議会委員長を後進に伝え、これからの農業のために力になりたいと思っています。

自動化、農福連携など新たな農業スタイルを

カキツバタや花しょうぶの栽培農家から始まり、今年で63年。日本初の水草専門の生産販売会社として、500種を超える様々な水生植物を育て、全国のホームセンターや種苗会社などに販売しています。また栽培のノウハウを生かして、寺院の池の管理や、ハスの大鉢のレンタル、個人宅や企業でピオトープ設置・管理を行い、永観堂、京都迎賓館、西宮神社などの庭園の池の管理を任されています。本社の栽培ハウス横に生産直売所があり、メダカ、メダカ飼育水草、ピオトープ水草、ハス苗、スイレン苗、水鉢、専用の土などを販売し、ネット販売も好調です。スタッフが出演して、水草やメダカの育成を教えるYouTubeも好評で、水生植物や資材の海外買い付け、抗酸化性に優れたハスの実を使った乾麺、ハスのつぼみから抽出した化粧水の製造販売など、若い人材の意見や行動力を積極的に採用し、多面的な事業展開を実行しています。

水生植物を通して安らぎ、癒し、健康を提供



紅々葉

代表 酒井 佑眞さん 酒井 祐弥さん



北澤農園

代表 北澤 良祐さん



株式会社 杜若園芸

代表取締役 岩見 悦明さん
五百木 晋平さん 岩見 俊孝さん



木村農園

代表 木村 正樹さん 有美子さん



梅農家

池野 勝信さん 池野 元紀さん



株式会社 孫右工門

七代目 太田 博文さん さおりさん

熱意が伝われば、城陽は魅力的なまちに

私には農家の5代目で、子どもの頃の昭和40年代はどっこも梨を栽培していました。袋掛けや剪定など高所作業が多く、高齢者には辛い仕事なので、平成6年頃からイチジクの転作が増え、我が家では現在1,600本を栽培しています。縁あって東京・豊洲市場に出荷したとき、城陽産イチジクはとても高く評価され、可能性を実感。ただ、雨や強風で傷つきやすく、ロスが多いため、皆、困っています。そんな時、出席した市の6次産業化の会議で機会をいただき、妻が中心となってイチジクカレーの開発に着手しました。試作と失敗を繰り返して完成させた「円熟咖喱」には丸ごと1個のイチジクが入り、イチジクの味を生かすため肉類は入っていません。第1〜3弾の製造分は即完売するほど好評で、この夏の収穫分もカレーにする予定。自分たちが栽培した農産物を加工して消費者に届ける新たな取り組みをさらに発展させたいと考えています。

イチジクをレトルトカレーにして大好評

20歳で家業の茶園を継ぎ、碾茶のことでだけを考えて栽培や作業に没頭する毎日。茶業組合の青年部を卒業した38歳から「お茶の石鹸を作りたい」「丹精込めて育てたお茶を消費者に直接届けたい」と様々な思いが湧き、不思議と異業種の方や、専門家、その道のプロとご縁ができて、思いが形になっていきました。茶園や碾茶工場などを見学する体験ツアーも思いのひとつで、独自に開催しています。東京や海外からお越しの参加者もおられ、皆さん一様に「城陽は素晴らしい」と口にし、狭い路地、古い街並み、茶園までの畦道に感動されます。どんな仕事でも一生懸命に取り組めば、その姿勢に感動してもらえるのかもしれない。城陽は遺跡をはじめ、イチジク、寺田イモ、城州白など、他にない誇るべきものがたくさんあります。それらに携わる方々の熱意が伝われば、農産物やモノだけでなく、城陽のまちがもっと魅力的になると思います。

青谷の梅(城州白)を、次の世代へ



梅農家

池野 勝信さん 池野 元紀さん



株式会社 孫右工門

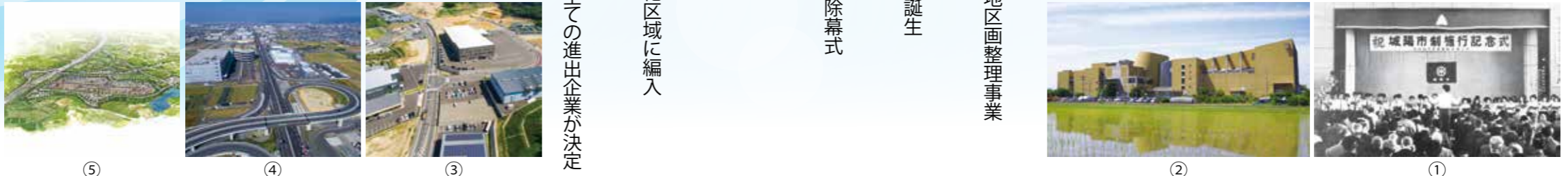
七代目 太田 博文さん さおりさん

城陽市産業施策年表

令和 平成 昭和

2024年	2022年	2020年3月	2019年2月	2018年2月	2017年1月	2016年3月	2014年3月	2013年12月	2012年4月	2009年6月	2008年5月	2007年5月	2002年3月	1995年11月	1988年10月	1985年4月	1984年5月	1972年5月	1951年4月
2024年	2022年	2020年3月	2019年2月	2018年2月	2017年1月	2016年3月	2014年3月	2013年12月	2012年4月	2009年6月	2008年5月	2007年5月	2002年3月	1995年11月	1988年10月	1985年4月	1984年5月	1972年5月	1951年4月
新名神高速道路全線開通予定	JR奈良線JR山城青谷駅橋上化・自由通路完成予定	第2次山背五里五里のまち 創生総合戦略策定	城陽市産業支援サイト「JoiNT」運用開始	城陽市産業支援サイト「JoiNT」運用開始	城陽市産業支援サイト「JoiNT」運用開始	城陽市産業支援サイト「JoiNT」運用開始	城陽市産業支援サイト「JoiNT」運用開始	城陽市産業支援サイト「JoiNT」運用開始	城陽市産業支援サイト「JoiNT」運用開始	城陽市産業支援サイト「JoiNT」運用開始	城陽市産業支援サイト「JoiNT」運用開始	城陽市産業支援サイト「JoiNT」運用開始	城陽市産業支援サイト「JoiNT」運用開始	城陽市産業支援サイト「JoiNT」運用開始	城陽市産業支援サイト「JoiNT」運用開始	城陽市産業支援サイト「JoiNT」運用開始	城陽市産業支援サイト「JoiNT」運用開始	城陽市産業支援サイト「JoiNT」運用開始	城陽市産業支援サイト「JoiNT」運用開始

ジョーカン 1~5号に掲載した市内企業40社を紹介します。



JoiNTは、「たべる・かう」などの簡単な4つのコンテンツで構成し、データ分析に基づいたお勧めの企業ページを提案するなど、若い世代の行動パターンを考慮し、飽きずに閲覧できる仕組みにしています。企業紹介のページは、学生たちが自ら取材し、企業の特長を捉えて文章化しています。

JoiNTポータルサイトトップページ

JoiNTのポータルサイトにはQRコードからアクセスできます。

城陽市の農業・商業・工業などの全産業の魅力や強み、新商品やPR等の情報発信に加え、空き店舗情報行政等の各種支援施策などを集約した総合的な産業情報発信のポータルサイト。人と人、企業と企業、商工業者や農業者などが繋がる「JoiNT」も、見て楽しい「JoiNT」などの思いも込められた名称です。「働きたい」「体験したい」「学びたい」など閲覧者の多様なニーズに応えるため、「つくる・はたらく」「あそぶ・たいけん」「たべる・かう」「くらす・まなぶ」の4つのコンテンツで城陽市内の様々な情報を提供し、市民をはじめ多くの方々に活用していただいています。「京都府立大学 地域貢献型特別研究」の採択で、市と京都府立大学の協働で構築を行いました。

新しい発想、企業間のコラボなど

1 JoiNTで「イチジク」を検索

2 市内の「イチジク農家」の情報を表示

3 同業種で類似性の高い「採卵養鶏場」の情報を表示

4 同業種で類似性の高い「茶問屋」の情報を表示

5 異業種で類似性の高い「生地プリントメーカー」などの情報を表示

J 城陽市産業支援サイト

Joyo Industrial- support & promotion Tool

ジョイント JoiNT

年間1万件を超えるアクセスがあります。

中島工業株式会社
代表取締役 中島 睦夫さん

金銀糸用着色コーティングフィルムを製造する会社を昭和52年11月に起業し、令和2年には新本社が完成しました。現在、電子機器分野の高機能性フィルムコーティング製造に力を入れ、スマートフォン、タブレットPC、タッチパネル機器の内部に採用されています。大手メーカーから日々多様な製品開発の要望があり、それに応えることができる人材を常に求めています。弊社は、城陽市、城陽商工会議所、ハローワーク宇治が主催の企業説明会に参加して、これまでに多くの新卒社員、中途社員の方を採用してきました。サンフォルテ城陽の周辺も大いに賑わってきており、新名神の開通も控え、益々良い環境が整ってきていると喜んでます。

会社の周辺環境も良く、地元人材を積極採用

企業説明会



城陽市では、サンフォルテ城陽や京都山城白坂テクノパークなどへの新たな企業の立地が進む中、人材を求める市内企業と求職者とのマッチングを図るため、城陽商工会議所ハローワーク宇治・京都ジョブパークと連携し、平成29年度から企業説明会を開催しています。

これまでに11回開催し、約90件のマッチングにつながっています。

企業も求職者も参加費は無料で、各企業のブースで直接質問などのやりとりができるため、企業にとっては求職者の人柄がわかりやすく、求職者にとっては直接担当から説明が聞ける良い機会となっています。また、同時に開催している求職者向けのセミナーも好評です。

応用電機株式会社



半導体検査装置をはじめ、常時1000種に及ぶ製品を手掛けるメーカー。昭和35年に京都市上京区に創業し、昭和60年に城陽工場を開設し、平成13年に城陽に本社機能を移転。熊本、浜松、相模原、名古屋に工場を、さらに3つの子会社を抱えるまでに成長。主力の計測・制御機器は、開発、設計、機械加工、表面実装、組立まで、オーダーメイドの少量生産のため、一人ひとりの得意分野を活かし、連携したチームワークで最先端技術に挑まれています。



[創業] 昭和35年1月
[従業員数] 610名 [資本金] 7,221万円
[事業内容] 電子・光学を応用した測定・計測機器、メカトロ機器、医用機器の開発、設計、製造
[本社] 城陽市平川中道表63-1
TEL 0774-52-0001



泉工業株式会社



昭和39年に創業し、ポリエステルを着色した金銀糸の製造では、ほぼ全ての工程を自社で行う社内一貫生産体制が整っている。ポリエステルの糸で織った布は、薬品で溶かして肌ざわりや風合いが良くする。ポリエステルの金銀糸は薬品に弱く、色落ちしたが、泉工業はこの問題を解決する「ジョーテックス」を世界で初めて開発しました。有名ブランドやスポーツメーカーの特注の依頼に応え、様々な製品作りを行っています。



[創業] 昭和39年5月
[従業員数] 16名 [資本金] 1,100万円
[事業内容] 金銀糸の開発、製造、販売
[本社] 城陽市市辺西川原19
TEL 0774-52-0709



伊賀屋食品工業株式会社



昭和41年12月、近鉄富野荘駅前夫婦で始めた豆腐店。手作り豆腐は人気で、縁あって水主に工場を開設し、昭和54年に法人化。機械化を進めつつ、肝心な所はすべて職人の手が入る。こだわりの美味しさが京都生協の目に止まった。豆腐の美味しさ、国内トップレベルの衛生管理を実現し、大手スーパーとの取引、PB商品の製造開発など、多くの依頼に応えている。平成28年に第二工場が完成し、美味しい豆腐を全国に届けています。



[創業] 昭和41年12月
[従業員数] 150名 [資本金] 8,100万円
[事業内容] 大豆加工製品の製造・卸
[本社] 城陽市水主塚ノ木31-6
TEL 0774-52-0281



株式会社アオイヒートテック



金属部分の強度や硬度を高める熱処理加工を行うアオイヒートテック。炭素を浸透させて、加熱後に冷却することで、金属を硬化させる「ガス浸炭焼入焼戻し加工」で、強度を高めるだけでなく「表面は硬く、内部は柔らかく」など、使用状況や発注先の要望に合わせて、様々な製品を作り出されています。自転車のギアを変速させるディレイラー、車のシートベルト・ドア部分などの熱処理加工を手掛け、一流企業も全幅の信頼を寄せています。



[創業] 昭和32年
[従業員数] 43名 [資本金] 1,000万円
[事業内容] 機械・金属工業製品への熱処理加工
[本社] 城陽市奈島川田47番地
TEL 0774-52-0045



株式会社オージーファイン



医療分野で使用される鏡面光沢の金型や顕微鏡で検査を行う微細な加工品の製造などを手掛ける一方で、地元食品会社の装置開発や古くなった機械部品の補修など、持てる技術、知識、経験を総動員して様々な開発や製造が行われています。令和元年に空調やクレーンが完備された製造フロア、開発室、会議室、食堂などのある新社屋が完成し、技能の継承と最新の加工装置の活用により次世代を担う技術者の育成に取り組まれています。



[創業] 昭和44年9月
[従業員数] 14名 [資本金] 1,050万円
[事業内容] 精密金属加工(精密工作部品、金型、組立品の製造)
[本社] 城陽市平川広田89-1
TEL 0774-53-8718



株式会社おうすの里



和歌山県で天保から続く梅農家に生まれた栗山会長が昭和58年、城陽に「おうすの里」を創業。5～6年の試行錯誤を繰り返して完成した「お茶事の梅」は、とろけるようにやわらかな果肉と梅の持ち味を生かした梅干しで、おうすの里の名を全国で知らしめるヒット商品に。平成30年に久世荒内・寺田塚本地区に新工場を開設し、念願だった城陽の梅「城州白」を使った梅干しづくりが始まり、新しい京都の味として人気を博しているそうです。



[創業] 昭和58年4月
[従業員数] 110名 [資本金] 1,000万円
[事業内容] 梅干し、お漬物、梅酒などの梅関連商品の製造販売
[本社] 城陽市平川車塚77-1
TEL 0774-55-6111



池本車体工業株式会社



自動車の部品製造技術を生かして、ゴルフ練習場の自動ティーアップ機を開発。昭和57年に自動車部門を廃止し、自社製品の製造販売に専念する。依頼で開発したポップコーン自動調理機が大ヒットし、原材料を自社生産するために工場を建設し、平成18年「京鹿六せんべい本舗」を設立。うまみ醤油の二度漬け、あまからなど定番から、西京赤みそ、九条ネギのねぎみそせんべい、宇治抹茶のせんべいなど、京都ならではの商品も人気です。



[創業] 昭和27年
[従業員数] 50名 [資本金] 1,500万円
[事業内容] ゴルフ練習場関連機器・アミューズメント機器の開発・販売。レストラン経営、せんべい・ポップコーンの製造・販売。
[本社] 城陽市寺田新池105-1
TEL 0774-54-1010



あきつや食品株式会社



昭和39年、京都伏見に「あきつや商店」を開業。昭和46年、本地に移転し、平成11年直売所「京都あきつや」をオープンしました。京のお海苔シリーズの京都蔵出し醤油味のは京都の老舗醤油屋さんの蔵出し醤油を用い自社工場内で炊き出したタレにより、少し甘めの味わいに仕上がっています。京のふりかけシリーズは当社のベストセラー商品で、スタンダードな「炒りごま」はもちろん、「柚子」「山椒」などいろいろな商品をお届けしています。



[創業] 昭和39年 [従業員数] 10名
[資本金] 1,000万円
[事業内容] 海苔関連商品の加工販売
[本社] 城陽市寺田市ノ久保1番地の1
TEL 0774-52-3500



サントリープロダクツ株式会社



宇治川工場ではお茶飲料など様々な製品を生産。製造される製品は全製品のおおよそ5分の1を占めている。24時間フル稼働の製造ラインはもちろん、作業を分散して並列処理できる効率的な設備構成が多品種の製造を支えている。缶、ペットボトルの他に容器が環境にやさしいバグインボックス飲料の製造も行われている。



[創業] 昭和49年
[従業員数] 138名(宇治川工場) [資本金] 10億円
[事業内容] 清涼飲料の製造
[本社] 東京都中央区京橋三丁目1-1
東京スクエアガーデン9・10階
[宇治川工場] 城陽市富野荒見田80
TEL 0774-52-5320



株式会社ケイティエフ



電機メーカーに勤めた奥田社長が独立し、平成4年に精密板金加工を設立。品質や技術の良さは口コミで広がり、会社の設備や規模も拡大。抜き、曲げ、溶接などの加工で一枚の鉄板が製品になり、マシンが多くの作業を行うなかで、ケイティエフにしか造れないものを造るため、人材育成と設備投資に力を入れています。久世荒内・寺田塚本地区に新工場を建設し、生産拠点を集中させ、さらなる高い要望に応えられるようになりました。



[創業] 平成4年
[従業員数] 75名 [資本金] 3,000万円
[事業内容] 各種精密板金・製缶加工等
レーザー加工、部品等製作・組立
[本社] 城陽市久世荒内335
TEL 0774-56-0039



きょうとゆうびんきょく 京都郵便局



郵便・物流ネットワークの再編のひとつとして日本郵便が進めてきた京都郵便局が平成30年2月19日に開局。日本郵便株式会社近畿支社管内では、新大阪郵便局に次いで2番目の規模を誇り、延べ床面積は、約5万5000平方メートルと甲子園球場とほぼ同じ広さになります。局内は5階建て、1階はゆうパック、3階は定形郵便物、4階は大型郵便物の仕分け作業が行われ、2階は事務所、5階は食堂・物流倉庫で構成されています。



[開局] 平成30年2月19日
[従業員数] 約1,000名
[事業内容] 郵便物、ゆうパックなどの区分け作業
[住所] 城陽市寺田塚本220番地
TEL 0774-41-0029



きょうと こうぎょう 京都エドナー工業株式会社



アニオン電着塗装で昭和42年京都市右京区で創業。昭和48年城陽市に移転し、塗装自動化ラインを新設。冷蔵庫の冷却フィン、自動車の動力を伝えるプーリー、検査機器のパーツなど、様々な塗装を手掛けてこられました。平成9年にカチオン電着塗装ライン、製品を乾燥させる大型バッチ炉の導入など、取引先の要求に応えられる設備も充実。経験と技術を持った職人による化粧塗装を受注するなど、新しい展開も模索されています。



[創業] 昭和42年9月
[従業員数] 32名 [資本金] 2,800万円
[事業内容] 各種金属製品のカチオン電着塗装、一般焼付塗装
[本社] 城陽市久世荒内191番地
TEL 0774-53-2311



さんわけんまこうぎょう 三和研磨工業株式会社 城陽工場



自動車に使用されるベアリングの仕上げ加工砥石、石材加工用途のダイヤモンド工具など、工業製品の製造から石材加工まで研磨で産業を支える三和研磨工業株式会社。ドイツに関連子会社、アメリカ・イタリア・インドに販売拠点があり世界中の石材研磨加工で製品が使われています。粉体焼結技術を生かし、反射防止膜、光フィルタ、透明導電膜、保護膜等の光学薄膜形成用の真空蒸着材料が目玉されています。



[創業] 昭和24年10月
[従業員数] 127名 [資本金] 7,500万円
[事業内容] ダイヤモンド砥石・ダイヤモンド工具、合成樹脂系微粒子研磨製品、セラミック系微粒子砥石、特殊パフ製品、研磨装置、蒸着機能材料の製造販売
[本社] 宇治市大久保町上ノ山22-1
TEL 0774-41-6128
[城陽工場] 城陽市平川浜道裏30



こうがくえんせいちゃ 香岳園製茶株式会社



荒茶の茎や葉脈を取り除く自動化ライン、150台以上の石臼が並ぶなど、衛生管理の徹底した設備は近年に導入されたばかり。一日に最大で100kg以上の抹茶を作ることができ、お客様の様々な要望に応じています。一般小売はなく、仕入れた茶葉を碾茶の状態まで仕上げ、茶問屋に卸し、製菓・食品メーカーの要望に合わせた抹茶を作って納入されています。JA全農京都茶市場の碾茶取引高では、香岳園製茶が常に上位に位置しています。



[創業] 明治初期 [従業員数] 25名
[資本金] 2,000万円
[事業内容] 宇治抹茶、宇治茶(玉露・煎茶等)の製造販売
[本社] 城陽市富野堀口27番地
TEL 0774-52-0007



くろかわ 黒川ダイドウ株式会社



1万坪の敷地に一貫した製造ラインを有し、高品質で高機能な捺染を行う。海外製の綿布を3~5kmに繋ぎ、薬品で水洗いして精練漂白し、緯糸と経糸も整えた綿布に、最大16色のオートスクリーン捺染機で印捺。型合わせや、染料の色づくりなど、職人の技術と経験によって美しい捺染を実現。超撥水・抗菌・防臭・UVの機能加工後、検査員の目視での厳しい検品で完成し、有名ブランドや高級寝具メーカーも全幅の信頼を寄せています。



[創業] 大正9年3月
[従業員数] 160名 [資本金] 9,900万円
[事業内容] 精練・漂白・捺染・樹脂加工の一貫加工システムによる各種織物の染色加工
[本社] 城陽市奈島生口18番地
TEL 0774-55-0601



きょうと 京都エレベータ株式会社



エレベーターメーカーに勤めていた岩島伸二さんが、7人の仲間と独立し、昭和58年に京都エレベータを創業。5大メーカーの部品供給が困難なため、部品を自作し、独自のプログラムを完成させ、リレー制御やマイコン制御を行ったことで、低価格で修理や保守点検ができ、安全安心なエレベータの稼働を実現させました。平成30年、久世荒内・寺田塚本地区に実験タワー併設の製造研究開発拠点が完成し、さらなる期待に応えています。



[創業] 昭和58年12月
[従業員数] 57名 [資本金] 1,000万円
[事業内容] エレベーター、エスカレーター、小荷物専用昇降機の保守点検、修理、販売、検査、設計、施工。
[本社] 京都市下京区岩上通高辻下吉文字町457番地 TEL 075-822-0420



株式会社津島鉄工所



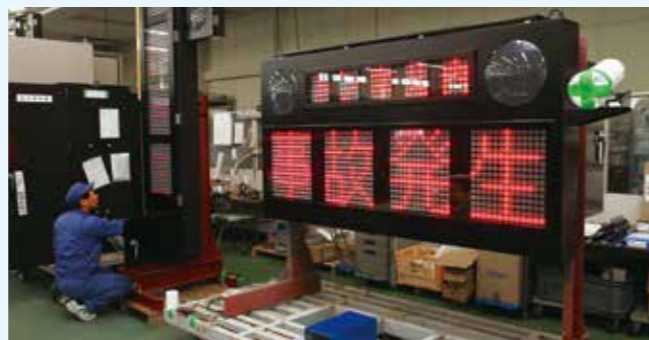
昭和44年京都市南区に創業し、大手検査機器メーカーなどの注文に応え、板金加工会社として成長。昭和53年に城陽工場、翌年に株式会社津島鉄工所を設立し、優れた製缶切削や精密板金などの加工技術で、様々な企業の要望に応じてこられました。全国の展示会へ積極的な出展する一方、京都府の開発プロジェクトで電池・電気を使わず、介護者が少人数で利用できる歩行器を完成させるなど、自社製品の開発も積極的に行われています。



[創業] 昭和44年10月
[従業員数] 30名 [資本金] 1,000万円
[事業内容] 製缶切削・精密板金・製缶・試作加工
[本社] 京都市南区唐橋花園町15
[城陽工場] 城陽市久世荒内177-11
TEL 0774-52-3397



星和電機株式会社



名神高速道路の天王山トンネルのLED照明や京都南インターチェンジの道路情報表示システム、化学工場に設置される発火の要因にならない防爆照明機器や電磁波の影響に対応するノイズ対策製品などを開発、製造する。情報表示システムは、設計・製造からアフターメンテナンスまで一貫して対応。照明では専門メーカーの強みを生かし、様々な環境、条件に適応した器具を提供。“あかり”で情報を伝え、“あかり”で安全安心を提供する。



[創業] 昭和20年10月
[従業員数] 484名 [資本金] 36億4,840万円
[事業内容] 情報表示システム、産業用照明機器、道路・トンネル照明機器、ノイズ対策製品、配線保護機材、照明用LEDモジュール製品
[本社] 城陽市寺田新池36番地
TEL 0774-55-8181



株式会社ShinSei



大手半導体装置メーカー勤務後、単身で渡米した芦田社長が帰国して平成16年にShinSeiを創業。電子顕微鏡で確認できる複雑な凹凸の3次元の形状の超精密金型部品の製作を始め、創業2年目でパナソニックとの取引開始し、平成20年に城陽市平川に本社を移転。様々な企業や大学から依頼を受け、高分子、材料、IT、医療などを研究するドクターが豊富なアイデアでスピーディに問題解決に取り組み、期待以上の結果を出されています。



[創業] 平成16年2月
[従業員数] 76名 [資本金] 1,000万円
[事業内容] 医療・電化関連の開発・試作、プラスチック金型の設計・製作販売、射出成形加工販売
[本社] 城陽市平川西六反40-1
TEL 0774-56-6780



城陽酒造株式会社



明治28年創業の老舗酒蔵。大手酒造会社に酒を売る「桶売り」を平成14年にやめ、売上が落ちるなか、窮地を救ってくれたのが昭和43年から始めた「城州白」の梅酒。平成23年に四代目を継いだ島本稔大氏は「自分が美味しいと思うものを造りなさい」との先代の言葉を胸に、お客様に喜んでいただくことを第一に考え、城陽酒造にしかできないことに挑まれています。契約栽培の山田錦で造る純米大吟醸、純米吟醸も大変好評です。



[創業] 明治28年
[従業員数] 10名 [資本金] 2,000万円
[事業内容] 酒類の製造・販売
[本社] 城陽市奈島久保野34-1
TEL 0774-52-0003



中島工業株式会社



金銀系用着色コーティングフィルムの製造に始まり、時代と共に電子機器分野へ展開。高機能性フィルムは、スマートフォン、タブレットPC、タッチパネル機器の内部に使用されている。コーティング技術力を活かし、医師と共同で医療分野製品を開発、特許を取得。昨年も新型コロナウイルス感染予防用「フェースシールド」販売。今後も最先端機能性フィルムで、新たな付加価値を生み出します。



[創業] 昭和52年
[従業員数] 180名 [資本金] 8,000万円
[事業内容] プラスチックフィルムに対するコーティング及び設計・開発
[本社] 城陽市平川広田78番地1
TEL 0774-54-1771



ダイセーエブリー二十四株式会社



名古屋を本拠地、関東から中国・四国まで物流ネットワークを築き、毎日1万ヶ所に食品を届け、スーパー業界を支えている。複数の食品メーカーの商品を一台のトラックで一括して届ける共同配送を、業界で先駆けて開始。平成30年7月、新名神高速道路・城陽JCT・IC前に「京都城陽ハブセンター」が完成。1643坪の広さを誇り、三温度帯で管理するため、常温、冷蔵、冷凍の倉庫で構成されています。



[創業] 昭和58年9月7日
[従業員数] 2,432名 [資本金] 5,500万円
[事業内容] チルド食品(冷蔵品)専門の年中無休24時間配送業務及び配送センターによる一時保管・仕分・出荷等の流通加工、情報を絡めた流通提案業務
[本社] 愛知県一宮市萩原町萩原山531-27
[京都城陽ハブセンター] 城陽市寺田塚本216番
TEL 0774-54-6124



株式会社Shinmei Delica



コンビニやスーパーのおにぎり、お弁当などを製造。城陽の本社工場を中心に大阪、埼玉に工場を展開しています。お客様まで「おいしい」をお届けするため、弊社開発チームはトレンド対応はもちろんのことオリジナリティの追及にも鋭意取り組んでおります。また、商品のみならず、お客様に「食の安心・安全」をご提供すべく、食中毒や異物混入防止のため、生産現場での衛生管理を徹底し商品事故防止に努めております。



[創業] 昭和53年2月
[従業員数] 600名 [資本金] 2億1,000万円
[事業内容] 炊飯米、米飯加工品の製造販売、学校給食等の製造販売
[本社] 城陽市上津屋境端32番地
TEL 0774-54-1161



城陽富士工業株式会社



昭和55年に部品加工会社を創業し、昭和59年に城陽富士工業株式会社を設立。機械加工の技術で大手メーカーとの取引も開拓するが、自社の強みである「長尺」と「超高精度」の加工に特化した加工会社へと展開し、展示会の出展や独自の勉強会を開催。長尺で超高精度を専門に扱うことで、この分野での経験やスキルは蓄積され、できることも増えて、結果として社員の負担も減り、働きやすい環境が整った企業として注目を集めています。



[創業] 昭和55年
[従業員数] 27名 [資本金] 1,850万円
[事業内容] 自動車、航空機、半導体、工作機械、医療、食品関連の機械装置などを担う長尺物部品や超高精度な部品加工製造
[本社] 城陽市平川中道表71番地2
TEL 0774-53-8921



株式会社 藤清



創業明治38年。月桂冠(株)のグループ企業です。「国産の天然素材を活かした本物の食品をもって社会に安心とやさしさを提供する」ことが使命です。厳選した国産原料と120mの深さから汲み上げた地下水で、こんにやく本来の味が楽しめる「生芋100%こんにやく」、とろけるような「汲みあげ湯葉」、大豆固形分12%以上の「成分無調整豆乳」、北海道産昆布と複数の削り節を使用した「そば・うどんだし」を製造&販売しています。



[創業] 明治38年 [設立] 昭和42年7月
[従業員数] 54名 [資本金] 1,300万円
[事業内容] 蒟蒻、豆乳、湯葉、ところてん、うどんだし等の製造販売
[本社] 城陽市奈島フケ8番地
TEL 0774-52-0071



株式会社ピーマックス



検査機器会社の突然の解散で、自分たちが手掛けた製品をそのままにできないと、8人の元社員がピーマックスを創業。クラッチ操作、ギアチェンジ、アクセルの開閉、急ブレーキ、車の運転操作をプログラム通りに何万回でも繰り返し行ってくれる自動運転ロボットシステムをはじめ、エンジン性能、排気ガスの測定、ボディ強度や耐久性など、自動車メーカーの様々な要望に応える試験装置を開発、製作しています。



[創業] 平成11年10月
[従業員数] 30名 [資本金] 1,000万円
[事業内容] 各種自動車・農業機械・建設機械用試験機の開発・設計・製造・販売
[本社] 城陽市市辺茶菴山2番17
TEL 0774-53-1119



日本観光ゴルフ株式会社



「京都にもゴルフ場を」と平田義太郎氏、寺田甚吉氏のもと、松下幸之助氏や関西経済界の錚々たるメンバーが発起人になり、昭和34年7月23日に「城陽カントリー倶楽部」がオープン。令和元年に60周年を迎えた老舗倶楽部です。地域交流に積極的に取り組み、親子または祖父母と孫のペアが女子プロ選手と一緒にプレーする「LPGAサマーキッズデーin京都」や、城陽市スポーツ協会の親睦ゴルフ大会などを定期的に開催されています。



[創業] 昭和33年9月
[従業員数] 127名 [資本金] 1億円
[事業内容] 城陽カントリー倶楽部の運営
[本社] 城陽市寺田奥山1-46
TEL 0774-52-2525



株式会社日興染織



昭和42年京都市南区で染色業を起業し、昭和52年に株式会社日興染織を設立。その翌年に城陽市久世荒内に工場を開設。婦人服地のデザインからプリントまで一貫して行い、ブランドと直接取引するメーカーになるために、平成11年に新工場を開設。流行や時代の変化に合わせて高級婦人服地だけでなく、紳士服ブランドやスポーツメーカー、消費者と取引するBtoCも視野に入れた展開も進め、アパレル業界に新風を吹き込まれています。



[創業] 昭和42年10月
[従業員数] 48名 [資本金] 5,000万円
[事業内容] プリント服地の企画・製造・販売
[本社] 城陽市久世荒内113
TEL 0774-54-1100



株式会社芳香園



約170年前の江戸時代末期、茶農家北村芳太郎氏が、茶商を務めたことがはじまり。戦中戦後の混乱期も家業を守り、昭和24年に法人化。地元の茶農家や茶市場から最良の茶葉を仕入れ、現在もわずかながら自社茶園で栽培が行われています。茶道の元家や師範が認める高級宇治抹茶から、質や量など様々な要望に応える抹茶まで手掛けており、大手メーカーの抹茶菓子や、外食レストランのデザートやドリンクにも使われているそうです。



[創業] 昭和24年10月
[従業員数] 10名 [資本金] 1,000万円
[事業内容] 緑茶、抹茶の製造販売
[本社] 城陽市長池北清水29番地
TEL 0774-52-0033



富士高分子株式会社



NASA(アメリカ航空宇宙局)が宇宙ロケットに使用したジアリルフタレート(DAP)樹脂を世界で初めて住宅建材に使用したリーディングカンパニーで、DAP製品の国内シェアは70%を誇る。DAP樹脂は燃焼処分時に有毒ガスが発生せず、SDGsにも合致する画期的な素材です。当社の強みは永年培ってきた含浸技術とプレス技術で、それに加え少量多品種生産や短納期にも対応できる柔軟な生産体制を整えていることです。



[創業] 昭和41年
[従業員数] 150名 [資本金] 3,000万円
[事業内容] 住宅関連商品・工業材料・ハイテク関連製品の開発、製造、販売
[本社] 城陽市寺田大谷135-1
TEL 0774-53-3131



株式会社浜田染工



様々な生地に捺染する染色会社。「抜染プリント」を得意とし、黒に染めた生地に花柄をプリントするときに、溶剤で花柄の形に黒の色を抜いて、そこに花柄を捺染。発色が鮮やかになり、裏にも花柄が出るので、洋服に仕立てたときに高級感が増します。これをオートスクリーン捺染機でスピーディに行われています。新工場には新たなオートスクリーン捺染機やインクジェットプリンター等を導入し、様々な要望に対応されています。



[創業] 昭和43年10月
[従業員数] 32名 [資本金] 2,000万円
[事業内容] プリント服地の企画・製造
[本社] 城陽市平川広田86-1
TEL 0774-54-3114



日本郵便輸送株式会社 京都営業所



全国から京都・滋賀に宛てたハガキ、封書、ゆうパックなどの荷物が京都郵便局に届き、ここで仕分けされた郵便物を京都・滋賀の全郵便局まで日本郵便輸送京都営業所が運んでいる。京都営業所には61人が勤務し、ドライバーが52名を占める(令和3年3月末現在)。「まごころを運ぶ」をモットーに「輸送品質ナンバーワン」を目指し、日本郵政グループの主要な会社のひとつとして重責を担っています。



[創業] 平成19年11月30日
[従業員数] 2,011名 [資本金] 182億5,000万円
[事業内容] 郵便物及び郵便事業に関連する物品の運送事業、一般貨物自動車運送事業(特別積み合わせ貨物運送を含む)、貨物利用運送事業、倉庫業、石油販売業ほか
[本社] 東京都港区西新橋一丁目16番2号
[京都営業所] 城陽市寺田塚本215
TEL 0774-54-5860



ローヤル工業株式会社



弁当箱、文具、容器等にデザインを付与する特殊印刷を得意としています。印刷したフィルムを金型内に送り射出成型しながらプリントを同時に行う「インモールド転写」は、曲面部分のある携帯電話や自動車内装品に採用されています。最近では、ガラス瓶へのカラー転写印刷が評判を高めています。製品の形状や材質に合わせてインキを選定し、機能性樹脂を付加するなど高いレベルの印刷技術で製品の美しさの追求と高品質なものを作っています。



【創業】昭和37年7月
 【従業員数】86名 【資本金】4,800万円
 【事業内容】転写フィルム印刷(プラスチック用、木製品用、金属製品用)・インモールド転写フィルム印刷など
 【本社】城陽市平川浜道裏51-1
 TEL 0774-53-7751



ムラグチ運送株式会社



軽トラック一台で運送業を始め、大手運送会社の委託で、スーパーへ野菜、レストランチェーン店へ食材など、食料品中心の運送に従事し、平成2年にムラグチ運送有限会社を設立。平成8年に株式会社に改組され、平成29年10月に京都郵便局の横に発着拠点になる城陽営業所を開業。従業員60名、車両台数54台、専用車両や設備も充実させ、冷凍、低温、常温の輸送、青果物の輸送を中心に、京都の物流を担う企業として期待されています。



【創業】平成8年8月
 【従業員数】70名 【資本金】1,000万円
 【事業内容】一般貨物運送、食品輸送
 【本社】城陽市寺田今橋70-9
 【城陽営業所】城陽市寺田塚本227
 TEL 0774-57-5411



株式会社ミズホ



昭和5年、大阪の玉造で砥石の販売を始め、昭和8年に城陽市に砥石製造所を開業。精密研削砥石の老舗メーカーとして様々な砥石を開発。ベアリングをメインに、自動車メーカーなどから絶大な信頼を得ています。砥石業界では日本初の超仕上げ砥石の開発に成功。砥石は成熟産業で製造技術は一定のレベルに達していますが、けいはんな学研都市のミズホテクニカルラボでは、次代の製品開発に取り組んでいます。



【設立】昭和14年10月
 【従業員数】224名 【資本金】4,500万円
 【事業内容】研削砥石、超仕上げ砥石、ホーニング砥石、軸付砥石、CBN砥石、ダイヤモンド砥石の開発・製造・販売
 【本社】大阪市西区新町1-9-18
 【京都工場】城陽市寺田袋尻82 TEL 0774-52-2521



株式会社マリンフレッシュ



マグロの加工食品を製造販売する水産加工メーカー。自社製造のマグロのたたきは、回転寿司チェーン店やスーパーなど様々な企業から支持されています。本社は埼玉県川越市で、平成29年4月に関西工場が白坂テクノパークに完成。加工したマグロのたたきを棒状にして凍らせる最先端の「トンネルフリーザー」が導入され、多くの職人の手によって、安くて美味しいマグロのたたきを作り、西日本全域をカバーする工場として稼働しています。



【創業】平成15年10月
 【従業員数】100名 【資本金】1,500万円
 【事業内容】水産物の加工・販売。水産物の輸入・販売
 【本社】川越市増形687-1
 【関西工場】城陽市市辺茶うす山2-37
 TEL 0774-74-8020



(株)ロゴスコーポレーション



海辺5mから標高800mの範囲で楽しめるアウトドア用品を企画・製造・販売するメーカー。ファミリーや初心者を使いやすく便利でお手頃な製品で大人気となり、平成4年から直営店LOGOSショップを全国展開。鴻ノ巣山運動公園の指定管理者となって、平成30年6月30日にロゴスランドを開業。室内でキャンプ体験ができ、さらに様々なアウトドアギアが手にとって試せると大好評で、全国からファンが訪れる人気フィールドになっています。



【創業】昭和3年
 【事業内容】アウトドア用品・ウェアなどの企画・販売・製造及び付随業務
 【本社】大阪市住之江区平林南2丁目11番1号
 【ロゴスランド】城陽市寺田大川原24-4
 TEL 0774-58-0010



株式会社山岡製作所



昭和13年に京都市左京区に創業し、昭和37年に城陽市に組立工場、プレス工場を、昭和45年には本社も移転させ、宇治原町にも工場を構える。京都の名だたるメーカーの期待に応え、現在は金型のトップメーカーに成長。HIIロケットに搭載された人工衛星の部品用金型や、新幹線の部品用精密金型を手がけます。技能や技術を身につける教育環境を整え、国家資格取得や、厚労省などの「現代の名工」に、多くの社員が選出されています。



【創業】昭和29年11月
 【従業員数】207名 【資本金】6,240万円
 【事業内容】超精密プレス金型・電子部品製造装置の開発及び製作、精密プレス加工
 【本社】城陽市平川横道93
 TEL 0774-55-8500



株式会社ミル総本社



食後の血糖値の上昇をおだやかにする「フィットライフコーヒー」で知られ、特定保健用食品(トクホ)などを製造販売する健康生活応援企業。商品開発も積極的で、厄介者の海藻のアカモクを使ったインスタントみそ汁を、京都府漁業協同組合と共同開発。今後の発展を見越して、城陽市の久世荒内・寺田塚本地区に用地を取得。お客様の健康と幸せを第一に考え、自社商品でそれを実現する実行力に期待が寄せられています。



【創業】昭和52年11月
 【従業員数】65名 【資本金】3,000万円
 【事業内容】特定保健用食品などの製造・通信販売
 【本社】京都市伏見区深草泓ノ壺町29-8
 TEL 075-645-2440



丸江伸銅株式会社



青銅棒の製造に特化し、公差100分の1の高品質の製品を、小ロット多品種など細かな要望に応える老舗の伸銅メーカーです。原料を溶かす溶解炉と鑄造炉を直結して、棒、管、六角など、様々な形状の青銅棒を希望の長さで製造できる「横型連続鑄造」の開発に業界初で成功。新しい合金を試すサンプル製造を行ったり、簡単な一次加工ができる設備を導入したり、お客様のニーズに合わせた対応を心掛けていらっしゃいます。



【創業】昭和19年8月
 【従業員数】25名 【資本金】5,000万円
 【事業内容】青銅棒・黄銅中空鑄物棒の製造および加工、販売
 【本社】城陽市長池五社ヶ谷20番地
 TEL 0774-52-3309



新名神高速道路の全線開通、(仮称)京都城陽プレミアム・アウトレットの開業、京都府立木津川運動公園やロゴスランドなど、多くの笑顔があふれる新たな施設が加わる中で、未来に向かって大きく躍動する城陽市。これまでに多くの人々が、暮らしや仕事を通じてまちを育んできたことで、農業、商業、工業などの産業に活力が生まれ、より魅力のあるまちへ成長を続けています。過去から様々なバトンを受け取り、次の世代につながるまちの成長と発展にむけて、いざ、「NEW 城陽」の幕開けへ。



TWINKLE JOYO

ロゴスランドを中心に城陽市内各所がぬくもりときらめきに満ちる冬のイルミネーションイベントです。



城陽五里五里の丘 (京都府立木津川運動公園)

子どもから高齢者まで、幅広い世代がレクリエーションの場として利用できる公園です。芝生広場には、元気に遊ぶ笑顔の子どもたちの歓声が響き渡ります。今後、公園の北側区域に「大規模屋根付広場」、「ウォーキング・ランニングコース」、「ウェルカムブリッジ(南北連絡橋)」、「地域物産館」などが整備され、ますます魅力的になる予定です。



LOGOS LAND

鴻ノ巣山運動公園レクリエーションゾーンの指定管理者である(株)ロゴスコーポレーションが運営する施設。ふわふわドームやバンクーパー砦などの大型遊具、BBQ スタジアム、室内テント泊が楽しめる2つの宿泊施設など、「外で、食べて、遊んで、泊まる。」をコンセプトに新たな城陽のスポットとして人気を博しています。



(仮称)京都城陽プレミアム・アウトレット

令和6年(2024年)春頃に開業予定の大型商業施設。現時点の計画の施設概要で、敷地面積約25.3ha、店舗面積約30,000㎡、店舗数約150店舗、駐車場約4,000台で、開業後は年間約400万人の来場が見込まれています。

